

STUDENT NUMBER

									Letter
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------

# JAPANESE FIRST LANGUAGE

## Written examination

Monday 3 November 2014

Reading time: 3.00 pm to 3.15 pm (15 minutes)

Writing time: 3.15 pm to 5.15 pm (2 hours)

## QUESTION AND ANSWER BOOK

### Structure of book

<i>Section</i>	<i>Number of questions</i>	<i>Number of questions to be answered</i>	<i>Number of marks</i>	<i>Suggested times (minutes)</i>
1	1	1	25	30
2	1	1	30	40
3	5	1	25	50
			Total 80	120

- Students are permitted to bring into the examination room: pens, pencils, highlighters, erasers, sharpeners, rulers and any printed monolingual and/or bilingual dictionary in one or two separate volumes. Dictionaries may be consulted during the reading time and also during the examination.
- Students are NOT permitted to bring into the examination room: blank sheets of paper and/or white out liquid/tape.
- No calculator is allowed in this examination.

### Materials supplied

- Question and answer book of 18 pages, including **Assessment criteria** on page 18.

### Instructions

- Write your **student number** in the space provided above on this page.
- Write all your answers in the spaces provided in this question and answer book. The spaces provided give you an idea of how much you should write.

### At the end of the examination

- Hand in this question and answer book at the end of the examination.

**Students are NOT permitted to bring mobile phones and/or any other unauthorised electronic devices into the examination room.**

**THIS PAGE IS BLANK**

**THIS PAGE IS BLANK**

**TURN OVER**

**SECTION 1 – Listening and responding****Instructions for Section 1****Text 1, Question 1 (25 marks)**

You will hear one text. It will be played twice. There will be a pause of approximately five minutes between the first and second playings of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in **JAPANESE**.

**TEXT 1****Question 1**

- a. この番組「ま<sup>いばら</sup>と茨城」の目的は何か。

---



---

- b. 番組の中で、ジオパークはどのような場所だと紹介されているか。

---



---

- c. 番組の中で述べられている、テーマパークと異なるジオパークの特徴を二つ挙げよ。

---



---



---

- d. 茨城県北<sup>けんぼく</sup>ジオパーク内の地域の文化を楽しむためには、どんな事したらよいか。具体的な例を二つ挙げよ。

---



---

- e. ジオパークにおけるインタープリターとは何か。

---



---

You may make notes  
in this space.



## SECTION 2 – Reading and responding

## Instructions for Section 2

## Texts 2 and 3, Question 2 (30 marks)

Read the two texts and then answer the question in 900–1100 *ji* in JAPANESE.

## TEXT 2

## 現代社会と体内時計

「人間は体内時計を持っている」ということは多くの人が実感している。2013年、日本では大手製薬会社による体内時計と睡眠の関係についてのコマーシャルが放映され、人々に体内時計と健康の結びつきを認知させることとなった。「朝、自然に目覚め、夜、自然に眠くなる」ことに科学者が注目し始めたのは1930年代のことで、体内時計遺伝子が発見されたのは1997年のことである。

地球の自転は24時間で昼夜の環境変化が周期的にやって来るが、人間においても体の様々な機能は約24時間のリズムを自律的に刻んでいることが分かっている。約24時間と言ったのは実は地球の1日の24時間より人間の体内時計は少し長く、放置すると少しずつズレてしまうが、朝日を浴びることによってこれが修正される。つまり、人間は太陽を中心とする地球の周期リズムに同調しながら約38億年かけて進化してきたのである。

ところがここ100年程度の間には照明器具が急速に発達し、人間の生活環境は激変した。現代人は、太陽の周期を無視して夜間でも活動ができるようになった。日中眠いという慢性的な疲れを感じている小中高生が増えていることが様々な調査で明らかになっている。

時差のある外国に行くと、昼夜の日照時間が突然変わるため体内時計によって調整されていた生体活動と実際の環境のリズムが乱れ、調子が狂う。これはいわゆる時差ボケだが、現代人は慢性的な時差ボケに陥っていることが多い。体内時計が正常に作動していると太陽と共に自然と目覚め、朝食もおいしく摂れるように臓器も自然に準備される。体内時計が狂っていると目覚ましを鳴っても起きられず、朝食を摂る気にもなれない。

時間生物学者である明石真氏によると、2000年頃から日本における気分障害患者が増えており、この時期はインターネットが一般に普及してきた時期と一致するというのだ。つまり、多くの人が夜間という間違ったタイミングで光を浴びながら活動するようになった。「夜型人間」という言葉が使われることがあるが、人間はそもそも昼行性である。患者らの多くは昼夜の逆転生活、不規則な摂食行為があり、体内時計が正常に働いていない。体がエネルギーの貯蔵機能を高めている時間帯に摂食すると肥満の原因になり、臓器が休もうとしている時に活動を続けるとさまざまな現代病のリスクが生じる。

太陽の動きと共に生活するのは確かに理想だが、24時間社会の現代においてはやはり難しいだろう。今、個人の皮膚細胞を用いてその人の体内時計周期を測定する研究開発が進められており、体内時計異常による慢性的な時差ボケを改善し体調を整える実地臨床の応用が期待されている。

You may make notes  
in this space.

2011年の東日本大震災に伴う電力不足で大掛かりな節電が実施されたが、「今までの東京は明るすぎた」と感じた人々が多かったようだ。当たり前だった東京の明るさが実は異常な光環境であり、節電時の夜の暗さを評価する機運もあったという。街灯の明るさで自分の影踏みが出来る、ちょうど1970年代頃の東京の明るさに風情を感じたという、その意識の変化は大事なものだろう。

科学技術・近代産業が発展し、多くの恩恵もあるが環境破壊と同時に肉体破壊も引き起こされている。今は自然の摂理に従って生活していくことの大切さを改めて考え見直すいい機会なのかもしれない。

### TEXT 3

## 「時間医療」の可能性

体内時計を利用することで医療に貢献できる可能性について紹介したいと思います。すなわち、体内時計にもとづいた適切なタイミングで治療を行うことで、治療効果の上昇や、副作用の減少を目指す、新しいタイプの医療が少しずつではありますが発展してきています。この医療を「時間医療」と呼んでいます。

... 私たちの体の機能を支えている数多くの遺伝子の活性には一日のリズムが存在しており、その結果、多岐にわたる生理現象(睡眠覚醒、体温、血圧、免疫、代謝など)においてダイナミックな一日のリズムが生じています。それならば、多くの薬について、最適な投薬の時刻というものが想定されるのは自然な考え方だと思います。

... 現状において、学生の生活リズムの乱れは顕著です。これは大学生だけではなくありません。少しずつですが着実に、中学生や小学生までも夜型生活の習慣が染みついてきています。体内時計診断を定期的を実施できれば、客観的なデータにもとづいた生活指導もやりやすくなります。生活習慣の改善は簡単なようでいて、実際は親や先生に言われてもなかなか直らないものです。健康診断で自分の体内時計の状態が診断として出てくると、個々人の意識も変化するでしょうし、自覚が芽生えることが期待できます。

「体内時計のふしぎ」明石真 (2013) 光文社新書 673 より部分引用

### Question 2

体内時計は生命維持に深く関わるメカニズムだが、現代社会ではこれを正常に維持することが難しく健康が脅かされている人が多い。テキスト2と3を使って、現代ならではの体調不良とそこから開発されつつあるこれからの医療の方法との関係についてまとめ、「現代社会を健康に生きる」という題名でスピーチ原稿を書け。これは高校生弁論大会に向けてのものである。(字数:900-1100字)

You may make notes  
in this space.







A large rectangular area containing a grid of 20 rows and 20 columns of small squares. Each square is defined by dashed lines, creating a writing template for a 20x20 grid.

A large rectangular area containing a grid of 20 rows and 16 columns of small squares, each with a dashed border, intended for writing or drawing.

**SECTION 3 – Writing in Japanese****Instructions for Section 3****Questions 3–7 (25 marks)**

Answer **one** question in 1000–1200 *ji* in **JAPANESE**.

Space is provided on the following page to make notes.

**Question 3**

日本の原宿ファッション、コスプレ、アニメ、音楽などのポップカルチャー、いわゆる若者のカルチャーが外国に紹介され人気が出てきた。このような新しい日本の文化が外国で受け入れられていることについてどう考えるか、若者向けの雑誌に投稿するための原稿を書け。よい点と、考える問題点について触れること。

**OR**

**Question 4**

2000年以降、教員免許を持たない民間人の校長を採用する学校が出てきた。民間人校長を受け入れることについての是非を生徒の立場から考え、新聞に投稿するための原稿を書け。

**OR**

**Question 5**

日本の芸能界では、小学生で歌手デビューしたり子役としてテレビに出たりする低年齢の芸能人が注目されている。あなたのおばが、芸能界に憧れる小学1年生の子供に、オーディションを受けさせたり芸能スクールに行かせたりしようか迷い、若い世代のあなたに相談してきた。子供が芸能界に入ることの良否を考え、おばに説明するための手紙を書け。

**OR**

**Question 6**

ある国際的なスポーツの大会であなたはボランティアとして活躍した。どのようなボランティアをしたのか、またどのような出来事があったか、その一日の日記を書け。

**OR**

**Question 7**

買い物をして家に帰ったら、紙袋の中身が自分の買ったものではなかった。そこから始まる事件について話を書け。それは高校生小説コンテストに応募するためのものである。

You may make notes in this space.



A large rectangular grid for writing, consisting of 25 rows and 20 columns. Each cell is defined by a solid top and bottom line and a dashed left and right line.







## **Assessment criteria**

### **Section 1: Listening and responding**

- the capacity to understand general and specific aspects of texts
- the capacity to convey information accurately and appropriately

### **Section 2: Reading and responding**

- the capacity to identify and synthesise relevant information and ideas from the texts
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy, range and appropriateness of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)

### **Section 3: Writing in Japanese**

- relevance, breadth and depth of content
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)
- range and appropriateness of vocabulary and grammar